

本科 1 期 4 月度

解答

乙会東大進学教室

高 1 選抜東大英語

高 1 東大英語



1章 文型1

要点

■ 確認問題1

解答・解説

- (1) ティムはそのパーティーに出席していた。
- (2) 電車は通常通り運行している。
○ as usual 「いつもの通りに」
- (3) 植物は通常，春に急速に生長する。

■ 確認問題2

解答・解説

- (1) It is getting dark outside.
○ get + C 「Cになる」
- (2) That sounds a great idea.
○ sound + C 「Cに聞こえる，思われる」
- (3) Everything went wrong.
○ go + C 「Cになる」
- (4) Sophia looked pretty in her blue dress.
○ look + C 「Cに見える」

■ 確認問題3

解答・解説

- (1) ○ 「昨日，テリーは彼のおじの家を訪ねましたか。」
○ visit は「～（＝場所）を訪れる」の意味で主に他動詞として使われる。
- (2) married with → married [got married to] 「彼はドナとバレンタインデーに結婚した。」
○ marry は「～と結婚する」という意味では他動詞として用いられる。
- (3) entered into → entered 「彼はコロラド州に入った。」
○ enter は「～に入る」という意味では他動詞として用いられる。

■ 確認問題4

解答・解説

- A.
- (1) I sent a postcard to him.
 - (2) Father got two tickets for the film for us.

B.

- (1) 彼は自分が悪いと認めるのにかなりの努力を要した。
- cost + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を犠牲にさせる」
 - considerable 「かなりの」
 - ここでの It は to admit he was wrong を受ける形式主語。
- (2) 公園に行くのにどのくらい時間が掛かりますか。
- It takes + O₁ + O₂ to do 「…するのにO₁はO₂(=時間)かかる」
 - 本問はO₂の部分が how long となり, 文頭にシフトされている。
- (3) この発明品のおかげで私たちは多くの時間と労力を節約することになるだろう。
- invention 「発明品」 < invent *vt.*
 - save + O₁ + O₂ 「O₁のO₂(=金銭・労力など)を省く」

問題

【1】

解答・解説

- (1) 「小学生たちが校庭で走っていた。」(第1文型)

Elementary students were running in a playground.

S V M

- (2) 「私の姉(妹)は編集者になった。」(第2文型)

My sister became an editor.

S V C(名詞)

- (3) 「sun と son は同じ音に聞こえる。」(第2文型)

Sun and son sound the same.

S V C

○ sound + C 「Cと聞こえる；Cに思われる」

- (4) 「私は午前4時にはっきりと目が覚めていた。」(第2文型)

I stayed wide awake at 4 a.m.

S V C(形容詞) M

- (5) 「この電車はサウスキャロライナへと近づいている。」(第3文型)

This train is approaching South Carolina.

S V O

○ approach ~ 「～に近づく」前置詞を伴わないことに注意。

- (6) 「その少年が私に博物館(美術館)への道を教えてくれた。」(第4文型)

The boy showed me the way to the museum.

S V O₁ O₂ M

第4文型は次のように第3文型でも表現できる。

The boy showed the way to the museum *to* me.

- (7) 「何も選べるものがない。」(第1文型)：There is (are) の構文は be 動詞の後に続く語句が主語となる。CやOがないので、第1文型と考える。

There is nothing to choose from.

V S

【2】

解答・解説

- (1) silent

○ remain + C 「Cのままである」

- (2) to be

○ seem to be C 「Cのように見える；Cのように思われる」

- (3) to be

○ appear to be C 「Cのように見える」

【3】

解答・解説

本問は分詞形容詞に関する選択問題。

- (1) bored, boring 「なぜあなたはいつもそんなにつまらなそうなの？ あなたの人生は本当にそんなにつまらないの？」

bore ～は主に他動詞で「～を退屈させる」の意味。1文目は「あなたは退屈させられた」という受動関係が成り立つので bored, 2文目は「あなたの人生は（あなたを）退屈させる」という能動関係が成り立つので, boring が正解となる。

- (2) tiring 「名古屋から東京への電車の旅は疲れた。」

tire ～は主に他動詞で「～を疲れさせる」の意味。「名古屋から東京への電車の旅が疲れさせた」という能動関係が成り立つので, tiring が正解となる。

- (3) surprising 「その5年間の輸出の増加は非常に驚きを与える。」

surprise ～は主に他動詞で「～を驚かせる」の意味。「輸出の増加が驚かせる」という能動関係が成り立つので, surprising が正解となる。

- (4) annoyed 「私が数分遅れただけで、いらいらすることはない。」

annoy ～は「～をいらいらさせる；～をうるさがらせる」という意味の他動詞で使われる。ここでは、「あなたは私の数分の遅刻でいらいらさせられた」という受動関係が成り立つので, annoyed が正解となる。

○ get + C 「…になる」

- (5) disgusting 「まさにその考えに嫌気がさす。」

disgust ～は他動詞で「～に嫌悪感を与える；～の気分を悪くする」の意味。「その考えが嫌悪感を与える」という能動関係が成り立つので, disgusting が正解となる。

- (6) disappointed 「私はその映画にがっかりした。」

disappoint ～は他動詞で「～を落胆させる；～をがっかりさせる」の意味。「私はその映画にがっかりさせられた」という受動関係が成り立つので, disappointed が正解となる。

- (7) depressing 「その天気に憂鬱になる。」

depress ～は他動詞で「～を憂鬱にする；～を意気消沈させる」の意味。「その天気が憂鬱にさせる」という能動関係が成り立つので, depressing が正解となる。

- (8) exciting 「新しい場所に行くのはいつもわくわくする。」

excite ～は他動詞で「～を興奮させる；～を楽しませる」の意味。「新しい場所に行くことがわくわくさせる」という能動関係が成り立つので, exciting が正解となる。

- (9) satisfied 「彼はその結果に満足しないだろう。」

satisfy ～は他動詞で「～を満足させる」の意味。「彼はその結果に満足させられない」という受動関係が成り立つので, satisfied が正解となる。

【4】

解答・解説

自動詞と他動詞の区別は、日本語に引きずられて間違いやすいので注意。

- (1) were waiting for
○ wait for ~ 「~を待つ」
- (2) reached
○ reach ~ 「~に到着する」
- (3) entered
○ enter ~ 「~へ入る」
- (4) asked for
○ ask for ~ 「~を求める」
○ second opinion 「セカンドオピニオン」別の医師の意見を聞いて患者が治療法を決定すること。
- (5) insisted on
○ insist on ~ 「~を主張する」
- (6) lay
○ lie-lay-lain 「横たわる；置かれている」(自動詞), lay-laid-laid 「~を横たえる；~を置く」(他動詞) cf. lie-lied-lied (嘘をつく)
○ back 「背中」
- (7) complained about
○ complain about ~ 「~に関する不平を言う」

【5】

解答・解説

- (1) Japan has many beautiful rivers.
動詞は has しかないため、Japan を主語とする。
- (2) My brother is a good soccer player.
- (3) We got tired after a long walk.
- (4) Joy made a bookcase for his brother.
○ make + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を作る」⇔ make + O₂ + for + O₁
- (5) We owe the prosperity of this shop to him.
○ owe + O₂ + to + O₁ 「O₁にO₂を借りている」⇔ owe + O₁ + O₂
- (6) It took him three days to write an essay about Kyoto.
take で「時間がかかる」という意味の場合、形式主語 it を主語にとることが多い。

【6】

解答・解説

- (1) has [had] ; There are [were], in (第3文型 ⇔ 第1文型) 「私たちの町には2つの大きな公園がある [あった]。」

1 文目は two large parks が has [had] の O (目的語)。2 文目は are [were] が V, two large parks が S。

- (2) It rained (第3文型 ⇔ 第1文型) 「先月はたくさんの雨が降った。」

1 文目は a lot of rain が had の O。last month は副詞句。2 文目の a lot, last month はともに副詞句。

- (3) is Tom's (第1文型 ⇔ 第2文型) 「この自転車はトムのものである。」

1 文目の to Tom は副詞句。2 文目は Tom's が C。

- (4) to him (第4文型 ⇔ 第3文型) 「あなたはその本を彼に送るつもりですか。」

○ send + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を送る」 ⇔ send + O₂ + to + O₁

- (5) for us (第4文型 ⇔ 第3文型) 「ポールはサラダを私たちに作ってくれた。」

○ make + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を作る」 ⇔ make + O₂ + for + O₁

- (6) to me (第4文型 ⇔ 第3文型) 「ジョンは私に彼の帽子を見せてくれた。」

○ show + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を見せる」 ⇔ show + O₂ + to + O₁

【7】

解答・解説

A.

- (1) Blind people read with their fingers.

read は自動詞の場合、「読める」となる。

- (2) Most nations realize war no longer pays.

ここでの pay は自動詞で、「引き合う、割に合う」の意味。

- (3) This will do as a pillow.

ここでの do は自動詞で、「間に合う、代わりになる」の意味。

B.

- (1) その噂は正しいとわかった。

○ prove + C 「Cであるとわかる」

- (2) その仕事は、思っていたよりずっと易しいとわかった。

○ turn out + C (= prove + C) 「Cであるとわかる」

C.

他動詞・自動詞の識別を誤文訂正の形で問うている。

- (1) ○ 「よい考えが浮かんだ。」

occur to で「～に(考えが)浮かぶ」の意味になる。

- (2) ○ 「素晴らしい考えが浮かんだ」

strike ～には「～の心に(考えが)浮かぶ」という意味がある。

- (3) speak → speak to 「ジェーンをお願いします。」《電話口で》

speak を「～と話す」とする場合には、前置詞 to などを続ける。Japanese のような言語などを目的語に取る場合のみ、他動詞として用いられる。

- (4) refer → refer to 「あなたの発言は私のことを言っているのですか。」

refer は to を伴って「～に言及する」の意味。mention とほぼ同じ意味になる。

- (5) reply → reply to 「私はこれらの質問に答える気はありません。」
reply は to を伴って「～に返事をする」の意味。
- (6) ○ 「彼女の著書はしばしば死を題材に扱っている。」
deal は with を伴って「～を扱う」の意味になる。
- (7) depend → depend on 「何時にそこに着くの。」 「道路の混み具合によるよ。」
depend は on を伴って「～次第である」の意味になる。
- (8) ○ 「我々はずいぶんその問題を解決できた。」
succeed in ～で「～に成功する」の意味になる。
- (9) specializes → specializes in 「その店は子供服が専門にしている。」
specialize は in を伴って「～を専門にする、専攻する」の意味になる。
- (10) care → care for 「何か召し上がりますか。」
care は for を伴って「～が欲しい；～を食べ〔飲み〕たい」の意味になる。
- (11) ○ 「彼女は試験のことは気にしない。」
care は about を伴って「～に関心がある；～を気にする」の意味になる。
- (12) resemble to → resemble 「その姉妹はお互い性格が似ている。」
resemble ～は他動詞のため、前置詞は伴わない。
- (13) ○ 「彼女は車の衝突事故でけがを負った。」
injure ～は他動詞で「～をけがさせる」の意味。

【8】

解答

A.

- (1) 2, 3 週間〔数週間〕 (2) カナダ (3) 3
(4) 飛行機 (5) 西海岸

B.

- (1) (D) (2) (A) (3) (B)

Script

CD 1

A : Mike, could you spare a few minutes?

B : Sure, Misa. What's up?

A : In a few weeks my class will finish and I want to make a short trip around Canada. I've heard you say how beautiful it is. Do you have any advice?

B : Did you say a short trip around Canada? That can't be possible!

A : Why? I'm thinking of spending about a week traveling before returning to Japan.

B : You have to realize Canada is a huge country. If I were you, I would limit my trip to three places at the most.

A : Any suggestions?

B : Well, I'm from Edmonton, which is close to the Rocky Mountains. I recommend you go there. It is a beautiful area and it might be a good idea to do some hiking or camping there.

添削課題

解答

- (1) He appeared (to be) satisfied with the work I'd done.
- (2) Though Mike works very hard, his job doesn't pay very much.
- (3) Don't get upset about it!
- (4) My computer's gone wrong again.
- (5) I have proposed improvements to the developers.
- (6) He is sending her threatening letters.
- (7) They offered me a job at the recording office.
- (8) We have to [must] deal with hundreds of complaints.

2章 文型2

要点

■ 確認問題 1

解答・解説

- (1) The villagers thought him a fool.
○ think + O + C 「OをCと思う」
- (2) Calcium makes our bones strong.
○ make + O + C 「OをCにする」
- (3) Please leave the windows open.
○ leave + O + C 「OをCのままにしておく」
○ 本問の open を opened にしないよう注意すること。
- (4) My father painted the wall white.
○ paint + O + C 「OをC (= 色) に塗る」
- (5) They appointed Nelson admiral.
○ appoint + O + C 「OをCに任命する」
○ 本問の admiral のように「唯一の役職」を表す場合には、通例無冠詞で名詞を用いる。
- (6) He was named Joe after his grandfather.
○ name + O + C 「OをCと名づける」
○ after はここでは「～にちなんで」という意味。
○ 「～の名をとって」という日本語の類推から、He was named Joe after his grandfather's name. としないようにすること。

■ 確認問題 2

解答・解説

A.

- (1) arguing 「彼女は両親が口論しているのを見た。」
「彼女の両親が口論する」という能動関係が成立するので、arguing が正解。
- (2) waiting 「私の妻を外で待たせっ放しにするな。」
「私の妻が待つ」という能動関係が成立するので、waiting が正解。
- (3) announced 「自分の名前が勝者として発表されるのを聞いた。」
「私の名前が発表される」という受動関係が成立するので、announced が正解。

B.

- (1) 私は自分の部屋に電話を取りつけてほしいと願っている。
○ have + O + 過去分詞 「Oが…されるようにさせる, してもらう」
- (2) 私の上司はその仕事を定刻までに終わらせてしまうだろう。
○ get + O + 過去分詞 「Oが…されるようにさせる, してもらう」

- (3) 当時, 私たちはいつも酔った人たちがプラットホームで口論しているのを見た。
○ quarrel 「口論する」

■ 確認問題 3

■ 解答・解説

A.

- (1) 税関検査官はメグに鞆を開けさせた。
○ make + O + 原型不定詞「Oに…させる」
- (2) 彼女は彼らが壁を乗り越えるのを見て, その行動を警察に報告した。
○ see, watch, feel などの知覚動詞は S + V + O + 原形不定詞の構文を作る。

B.

- (1) I was made to clean the windows by Tim. 私はティムに窓の掃除をさせられた。
- (2) We were seen to run to the taxi by Lisa. 私たちはリサにタクシーに走っていくのを見られた。
- (3) Tom was heard to talk about his new book in the café. トムはカフェで自身の新しい本について話しているのを聞かれた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) 「その秘書はその方法（道）を簡単に見つけた。」（第3文型）

the way easily

O（名詞） M（副詞）

easily は found にかかっている。

- (2) 「その秘書は簡単な方法を見つけた。」（第3文型）

the easy way

O（名詞句）

冠詞と名詞ではさまれている easy は、名詞 way にかかっている。

- (3) 「その秘書はその方法は簡単だとわかった。」（第5文型）

the way easy

O（名詞） C（形容詞）

○ find + O + C 「OがCだとわかる」

- (4) 「彼らはその船を日本丸と名づけた。」

○ name + O + C 「OをCと名づける」

- (5) 「その窓を開けたままにしておいてください。」

○ leave + O + C 「OをCのままにする」 the windows (O) = open (C)

- (6) 「私たちは彼を大統領に選んだ。」

○ elect + O + C 「OをCに選ぶ」 Cに役職が入る場合、役職が1名に限られる場合は無冠詞になる。

- (7) 「彼のしたことは奇妙だと思いませんか。」

○ think + O + C 「OがCだと考える」

○ it は形式目的語

- (8) 「宿題をやりかけにしたままにはいけません。」

○ half-finished 「半分しか仕上がっていない」

- (9) 「彼はエンジンをかけたままにした。」

○ keep + O + 現在分詞 「Oを…のままにしておく」

- (10) 「その店員は彼が手袋を盗んでいるところを見つけた。」

○ catch + O + 現在分詞 「(偶然に) Oが…しているところを目撃する」

- (11) 「私は卵をゆでてほしいです。」

○ want + O + 過去分詞 「Oを…してほしいと望んでいる」 want は過去分詞以外にもCに to do, 現在分詞の形もとる。

- (12) 「エイミーはフランス語で自分の意志を伝えられます。」

○ make + O + 過去分詞 「Oを…させる」

【2】

解答・解説

S + V + O + C の C が原形不定詞 (= 動詞の原形) になるか、過去分詞になるか、その他になるかは、V (動詞) の種類と O (目的語) の立場で考える。

- (1) repaired : 使役動詞。靴は 'repair される' と考えられるので、過去分詞になる。
- (2) mend : 使役動詞。彼は 'mend する' と考えられるので、原形不定詞になる。
一般に複雑で大規模な修繕には repair, 簡単で小規模なものには mend を用いる。
- (3) let : 同じ使役動詞 (O に…させる) でも、それぞれ, let は「O に (許可を与えて) …させる」, make は「O に (強制的に) …させる」の意味合いを含む。設問から, 父が「…させる」許可を O (= me) に与えなかったことがわかる。
- (4) made : 設問から, 父が強制的に O (= her) に「…させた」ことがわかる。
- (5) let

【3】

解答・解説

- (1) We saw the man carried to an ambulance.
 - see + O + 過去分詞「O が…されたのを見る」〔知覚動詞〕
 - ambulance 「救急車」
- (2) I heard him playing the guitar.
 - hear + O + 現在分詞「O が…しているのが聞こえる」
- (3) George will have his younger brother look after their dog.
 - have + O + 原形不定詞「O に…してもらう〔させる〕」
 - look after ~ 「~の世話をする」 (= take care of ~)
- (4) He left the light on.
- (5) I had my car washed by my brother.
- (6) I want my coffee strong.
 - want + O + C 「O を C してほしいと望んでいる」
 - strong 「(飲み物が) 濃い」
- (7) She found him weeping alone.
 - find + O + 現在分詞「O が…しているのを見つける〔…しているとわかる〕」
- (8) I wish to have a computer put in my room.
 - have + O (= 物・事) + 過去分詞「O を…してもらう」〔使役〕
 - wish to do 「…したいと思う」
- (9) She had her hat blown off by the wind.
 - have + O (= 物・事) + 過去分詞「O を…される」〔被害〕
 - blow off ~ 「~を吹き飛ばす」
- (10) I got Mrs. Brown to correct my English essay.
 - get + O + to do 「O を…してもらう〔させる〕」
 - correct ~ 「~を訂正する」

- (11) I found it difficult to pass the biology test.
 ○ biology 「生物学」
- (12) Most of the people considered him not guilty.
 ○ consider + O + C 「OをCだとみなす」
 ○ guilty 「有罪」 ⇔ innocent 「無罪」

【4】

解答・解説

本問では、S + V + O + 原形不定詞を受動態に書き換える際には、to が必要になる点を確認する。

- (1) She has been made to return the money (by them).
 (2) She was seen to enter his study (by us).
 (3) Something was felt to touch me on the shoulder.

【5】

解答・解説

- (1) 私の父はペルシアの裕福な商人で、私に財産を残してくれたが、私はそれをすぐに使ってしまった。
 (2), (3) では、Vの後に現在分詞を続けて状態を表している英文を扱う。
 (2) 彼は座って何時間も本を読んでいた。
 (3) 私たちは立ったまま1時間話をしていた。

【6】

解答・解説

- (1) 「全訳」の下線部(1)を参照。
 ○ smoke 「喫煙する；タバコを吸う」
 ○ domestic flight 「国内線」 cf. international flight (国際線)
 ○ such as ~ 「～などの；～のような」
- (2) passengers to smoke in their cabs
 ○ permit + O + to do 「Oに…することを許す」
- (3) ㉞ surprised : surprise ~は「～を驚かす」という他動詞のため、「驚いた」という場合には、'be 動詞 + surprised' で表現する。否定の命令文である Don't が文頭のため、その後の be 動詞は原形になる。
 ㉟ to smoke
 ○ ask + O + to do 「Oに…するように頼む」
- (4) ㉞ ア : Go right ahead は許可を求められて、これに答える表現。「さあどうぞ」の意味である。ここでは、喫煙許可を求められているのであるから、Go right ahead and に続くのは、smoke である。
 ㉞ ウ : 空所㉞を含む文には、前文に対する理由が示されている。したがって、喫煙

しないでくださいと頼まれても驚いてはいけない理由は、「タバコアレルギーであるかもしれない」から、あるいは「タバコの煙を (©) かもしれない」からである。

ア expect ～ 「～を期待する；～を予期する」

イ prefer ～ 「～の方を好む」

ウ dislike ～ 「～を嫌う」

エ refuse ～ 「～を拒否する」

全訳

喫煙は健康にはよくないとアメリカ人は思っている。喫煙に関する厳しい法律がある。公共の建物、デパート、劇場、多くの会社では喫煙できない。(1)アメリカの国内線では、ニューヨーク発ホノルル行きのような長時間のフライトだとしても、喫煙することはできない。多くのホテルには、喫煙フロアと禁煙フロアがある。レストランには、喫煙席と禁煙席がある。乗客に車内での喫煙を許可しないタクシー運転手はたくさんいる。

喫煙者にとってアメリカでの生活は困難なものである。西海岸では、喫煙はまったく人気がない。いつでもアメリカ人の友達に「タバコを吸ってもいいですか。」と聞いてみなさい。そうしたら、彼らは「どうぞ、吸ってもいいですよ。」と言うかもしれない。吸わないで下さいと言われても、驚いてはいけない。タバコアレルギーかもしれないし、タバコの煙が嫌いなのかもしれないからである。

【7】

解答・解説

- (1) Don't keep the door closed to foreign countries for the sake of domestic industries.
 - for the sake of ～ 「～のために」
 - domestic 「国内の；家庭の」
- (2) Please keep me informed of any developments in the situation.
 - inform A of B 「AにBを通知する」

添削課題

解答

- (1) He found himself in an embarrassing situation.
- (2) He argues that house prices will fall, but other economists believe the opposite true.
- (3) I had my new shoes stepped on in the crowded train.
- (4) Yesterday I had my friends call on me in my absence.
- (5) The trainer made the monkey sit on the stool.
- (6) I was made to wait for a long time.
- (7) I saw the boy crossing the bridge.

3章 時制 1

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) What do you usually do on weekends?
- (2) What time [When] does this train arrive at the station?
- (3) I asked him if he would go there the next day.

■ 確認問題 2

解答

- (1) My mother used to read a book to us [read us a book] every night.
- (2) World War II ended in 1945.

■ 確認問題 3

解答

- (1) Eric is getting married next month.
- (2) I'm too tired to walk home. I think I'll take a taxi.
- (3) I'm going to visit Anna tonight.

問題

【1】

解答・解説

- (1) does (「ジョンは食べすぎる。」「うーん、彼は昔は今よりもっとたくさん食べたものだった。」)
- used to *do* : 過去の習慣的行為を表す。
 - does = eats : 現在の習慣を表す。
- (2) often went (若い頃私はよく川へ釣りに行った。) : 過去の習慣。often など頻度を表す副詞は一般動詞の前にくる。
- (3) lay (彼は病気だったので一日中ベッドに横になっていた。)
- lie *vi.* - lay (過去) - lain (過去分詞) 「横たわる」
 - all day long = all (the day) 「一日中」
- (4) laid (昨日スミス氏は演説の中で世界平和を非常に強調した。)
- lay *vt.* - laid (過去) - laid (過去分詞) 「～を横たえる, ～を置く」
 - lay [place; put] emphasis on ~ 「～を強調する, ～を力説する」
- (5) is (明日晴れたら私たちは泳ぎに行くつもりだ。) : 時や条件を表す副詞節の中では未来の事柄は現在形で代用する (単純未来の *will* は用いない)。
- go for a swim = go swimming
- (6) comes (彼が戻って来るまで私はここで待つつもりだ。)
- until ~ 「～まで」時を表す副詞節を導く。
- (7) arrives (彼が到着するとすぐに彼らは出発する予定だ。)
- as soon as ~ 「～するとすぐに」時を表す副詞節を導く。
- (8) will pass (彼女がその試験に合格するかどうか私は分からない。) : *if* は名詞節を導くので未来の事柄は未来を示す表現を用いる (単純未来の *will* を使用)。

【2】

解答・解説

- (1) do, do
- (2) going to read, bought
- (3) about to be
- be about to *do* 「今にも…しそうである」
- (4) are to
- be to *do* 「…することになっている」「公式の予定’, ‘手はず’を表す際に使う。
- (5) Do : 日本語では「わかりましたか。」と過去の形で言うが、英語では現在形を使う。
cf. I am surprised. (驚いた。)
- (6) used to

【3】

解答・解説

- (1) Last week we [I] bought (some) furniture for the new home.
別解 Last week we [I] purchased some pieces of furniture for the new home.
- (2) Because he looks better, he is going to get well soon.
「顔色がいい」という証拠に基づいた予測であるので、be going to *do* を用いる。
- (3) She works for this company.
この場合の「働いている」は、当分変わりそうにない現在の事実なので現在形で表す。
- (4) Put the book away before the children find it.
before 以下は時を表す副詞節なので、未来の事柄を表すのに現在形を用いる。
○ put ~ away 「～を片付ける, しまう」
- (5) My watch was five minutes slow, so I missed the train.

【4】

解答

イタリアのお店や会社のスケジュールに私はいらいらする。なぜならば、時間を無駄にするのが嫌いだからである。不合理な、あるいは少なくとも私が不合理だと思っているスケジュールの違いを考慮して、特に注意深く毎日の用事の予定を決めている。すべてのイタリア人と同じように、毎日午後になると3時間のシエスタのためのお店が閉まるということ、食料品店の営業時間が他のお店とは違うということ、冬時間は夏時間と同じではないということ覚えておかななくてはならない。銀行や官公庁はまったく違うスケジュールに従っている。さらに複雑なことには、ストが起こる可能性が常にあるのである。ゆっくりとはあるが確実に、私はこの「不合理な」スケジュールに対処できるようになってきた。

注

- ℓ.2 ○ Given ~ 「～を考慮に入れば, 考慮して」
○ irrational 「不合理な, ばかげた」
○ variation 「違い; 変種」
- ℓ.3 ○ errand 「用事」
○ with particular care : with care = carefully である。したがって、「特に注意して」の意味を表す。
- ℓ.6 ○ the public offices 「官公庁」
○ To make matters even more complicated 「事態をいっそう複雑にすることには」
〔even には比較級を強調する働きがある。〕
- ℓ.7 ○ strike 「ストライキ」
- ℓ.8 ○ learn to *do* 「…できるようになる, …するようになる」
○ cope with ~ 「～に対処する」

【5】

解答

何世紀にもわたって、人間は時間を測定する様々な方法を考案してきた。人間が小規模の孤立した社会で暮らしている限りは、現地時間の違いによって生じる問題はほとんどなかった。19世紀後半のアメリカで鉄道旅行ブームが起こったことによって、標準時がアメリカにとって必要なものとなった。統一された時間制度がなければ、鉄道の時刻を標準化することは決してできなかった。とうとう1883年、鉄道はウィリアム・F・アレンの提案した「標準時」を採用することに決定した。この案によれば、アメリカ大陸は4つの異なる時間帯に分割される。ニューヨーク市で時計の針が午前9時を指している、シカゴでは午前8時、デンバーでは午前7時、サンフランシスコでは午前6時である。

標準時によって、ハイテクのコミュニケーションの道が開かれた。もし正確な時間がわからないとすれば、我々の生活がいかに複雑になるか、考えてもみてごらん下さい。

注

- ℓ. 1 ○ throughout 「～にわたって」
- devise 「～を考案する, 発明する」
- measure 「～(時間・長さ・大きさ・量など)を測る, 測定する」
- as long as 「～である限りは, ～の間は」
- ℓ. 2 ○ isolated 「孤立した, 隔離された」
- cf. isolate 「～を隔離する」, isolation (隔離)
- community 「共同社会, 地域社会」
- local time 「(標準時間に対して) 現地時間, 地方時間」
- ℓ. 4 ○ necessity 「必要, 必要なもの, 必需品」
- unified 「統一された」 cf. unify 「～を統一する」
- ℓ. 5 ○ standardize 「～を標準化する, 規格化する」
- adopt 「～(計画・提案・意見など)を採用する; ～を養子・養女にする」
- cf. adoption (養子縁組, 採用)
- William F. Allen (1846 ~ 1915): 米国の鉄道技師・鉄道専門家。Allen の提案する標準時が採用されるまで、米国の鉄道では、地域や都市によって異なる時間が用いられていた。そのため、大きな混乱が生じた。
- proposal 「提案, (提案された) 計画; 結婚の申込」
- cf. propose 「～を提案する, ～を計画する; ～に結婚を申し込む」
- ℓ. 6 ○ according to 「～によれば, したがって, 応じて」
- continental 「大陸の, 大陸性の」
- divide 「～を分割する, 分配する」
- Ex. Divide this cake into four pieces. (このケーキを4つに分けて。)
- four separate time zones 「4つの異なる時間帯」
- cf. separate (分かれた, 離れた, 別々の)
- ℓ. 9 ○ pave the way for 「～への道を開く, ～の準備をする」
- complicated 「複雑な, わかりにくい」 cf. complicate 「～を複雑にする」

【6】

解答

A.

- (1) 家の明かり〔照明〕をとますため。
- (2) 日中にもっと電気を使わせるようにするため。
- (3) 必要がないときに電気を使わないようにすること。

B.

- (1) People used (more) electricity in their houses at night (than) in the daytime.
- (2) Today we use electric irons and other appliances to (make) (life) (easier). It is now difficult for us to (live) (without) (them).
- (3) What can we do now to (prevent) (that) (from) (happening)?
- (4) But the first thing we can do is, (of) (course), to stop using electricity when we do not (have) (to).

Script

CD 2

About one hundred years ago, electricity was mainly used for lights in houses. People used more electricity in their houses at night than in the daytime. Electric power companies wanted people to use more electricity in the daytime. They needed useful appliances that people would use not only at night but also in the daytime. Did they have any good ideas? The first answer to this question was an electric iron. It was made in 1902.

Today we use electric irons and other appliances to make life easier. It is now difficult for us to live without them. We use a lot of useful appliances that we did not have one hundred years ago. So we need more and more electricity than before.

If we keep using electricity like this, there may be a severe shortage of electricity some day. What can we do now to prevent that from happening? Some scientists and engineers are trying to make appliances which do not need much electricity. But the first thing we can do is, of course, to stop using electricity when we do not have to.

全訳

およそ100年前、電気は、おもに家の明かりをとますために使われていた。人々は、昼よりも夜、家で多く電気を使った。電力会社は、日中にもっと電気を使わせなかった。電力会社は、人々が夜だけでなく日中にも使ってくれる、便利な電気器具を必要としていた。何か妙案はあったのだろうか？ この問題に対する最初の答えは、電気アイロンだった。電気アイロンは1902年に作られた。

今日、私たちは生活を便利にするために、電気アイロンやほかの（電気）器具を使っている。今やそうしたものを使わずに生活するのは難しい。私たちは、100年前にはなかった便利な（電気）器具をたくさん使っている。だから、以前よりもますます多くの電気が必要になっている。

もし、このように電気を使い続けられれば、いつか深刻な電力不足に陥るかもしれない。そうならないように、今、私たちは何ができるだろうか？ あまり電気を必要としない（電気）器具を作ろうとしている科学者や技術者もいる。しかし、私たちがまずできることは、もちろん、

必要のないときには電気を使うことをやめることである。

【7】

解答・解説

基本的に「意図」を表す場合、その場で生じた意図 → will, 前もって明らかにしていた意図 → be going to という使い分けをする。その場の状況に応じて生じた意図 (A) か、あらかじめ考えていた意図 (B) かは、文の前後関係から判断できる。この解説では前者を (A)、後者を (B) と表記する。

- (1) will call, will translate 「私はこの手紙が理解できません。」「じゃあ息子に電話してみましょう。息子なら訳してくれるわ。」

相手の I can't understand this letter. という言葉を聞いて思いついた意図なので (A)。

- (2) won't lend 「定期券を貸して下さい。」「いいえ、貸せないわ。法律に反しますもの。」
Will you lend me your season ticket? を受けての発話なので (A)。

○ season ticket 「定期乗車券」 (= commutation ticket 《米》)

- (3) will ask 「たった今、兄がアメリカから帰ってきました。」「よかったわ。次のパーティーにお兄さんを招待することにするわ。」

My brother has just returned from America. を受けての発話なので (A)。

○ ask 「招待する」 (= invite)

- (4) am going to get 「なぜ5時半に目覚まし時計が鳴るようにしたのですか。」「なぜならその時に起きようと思っているからです。私にはやらなければならないことがたくさんあるのです。」

目覚ましを5時半にかけたのは、I've got a lot to do とあるので (B)。

- (5) will make 「とっても寒そうね。暖炉のそばに座りなさい。紅茶を入れてあげるわ。」

○ You look frozen. と思ってから発話なので (A)。

○ make ~ some tea 「~のために紅茶を入れる」(この some は社会的な常識によって定められたある量を示唆する。)

- (6) am going to give 「私はタバコを買わなかったわ。なぜならやめようと思っているからよ。」

I haven't bought any cigarettes. の発話以前にあらかじめ考えられていた意図なので (B)。

- (7) will give 「6時30分の電車に乗ろうと思っているの。」「僕もだよ。だったら駅まで乗せてあげるよ。」

I'm catching the 6:30 train. という言葉を聞いて思いついた意図なので (A)。

○ so + V' + S 「Sもそうである」

○ give ~ a ride 「~を車に乗せてやる」

- (8) are you going to do 「この先10年の計画を立てました。」「それは頭がよいこと！ 大学を卒業したら、何をするつもりなの？」

I've planned my future for the next ten years. とすでに言っているので、「あらかじめ考えていた意図」を聞くことになる。よって (B)。

【8】

解答・解説 |||

- (1) I live near the Kanda River.

live という動詞は like, love などと同様, 特別の場合以外は進行形にする必要はない。
したがって I live near the Kanda River が正解。

- (2) We have four dogs and three cats at our home.

- (3) My mother works at home all day.

「働いている」だから現在進行形と考えた人がいるかもしれないが、「動作動詞の現在形はいつも行っている行為を示す」という原則により, works がよい。

- (4) They have a lot of snow in the winter in Hokkaido.

We have a lot of snow in the winter in Hokkaido.

It snows a lot in the winter in Hokkaido.

a lot of を much にした人がいるかもしれないが, このような肯定文では much は用いられない。

- (5) Japan has a lot of volcanoes.

There are a lot of volcanoes in Japan.

We have a lot of volcanoes in Japan.

添削課題

解答

- (1) Jason doesn't drink coffee very often.
- (2) Rice doesn't grow in cold climates.
- (3) I'll be very surprised if she doesn't get the job.
- (4) Her plane arrives in Atlanta at 10 : 30.
- (5) ("Mike called while you were out." "OK.) I'll call him back."
- (6) I won't tell anyone what happened here.
- (7) ("His clothes are dirty." "Yes, I know.) I am going to wash them later."
- (8) The boat [It] is going to sink.
- (9) Kevin was going to quit his job (, but, in the end, he decided not to.)

E1JS/E1J
高1 選抜東大英語
高1 東大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製